

平成27年5月27日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学
理事・副学長 下間 康行

平成27年度山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練の実施について

山梨大学医学部附属病院では、今年度のトリアージ*訓練を下記のとおり実施します。

今回の訓練は、「みんなで考えて行動する参加型トリアージ訓練」をキーワードに、過去に実施した訓練における反省を踏まえ、本院と山梨県内関連施設との連携を重視するとともに、参加者の知識と技術の向上を目指した訓練を実施したいと考えております。

つきましては、当日の取材方よろしく申し上げます。

※ トリアージ・・・災害などで多数の負傷者が出た場合に、限られた医療資源でできるだけ多くの人を助けるため、負傷者に搬送や治療の優先順位をつけ分類をすること。

記

日 時：平成27年5月30日(土) 午前8時30分～12時00分頃(雨天決行)

場 所：山梨大学医学部附属病院（山梨県中央市下河東1110番地）外来棟 他

参加機関：(院外)甲府南消防署、山梨県、甲府市、中央市、他医療機関 他
(院内)各診療科、各講座、病院各部(室)、事務部職員、医学科・看護学科学生 他

詳 細：別紙をご覧ください。

以 上

<報道担当・問い合わせ先>

(問い合わせ先)

山梨大学 医学域管理課 萩原

TEL：055-273-6491

(広報担当)

山梨大学 総務部総務課 広報グループ

TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

平成27年度山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練実施計画

1 はじめに

東日本大震災の発生から4年が経過しましたが、今なお、日本国内では余震とみられる中規模地震が発生し、さらには、各地で火山活動も活発化しています。関東・東海地区に発生する巨大地震を原因とする同地区の大災害の可能性は、近い将来ではなく、いつ起きてもおかしくない状況にあるといえます。

この状況に対して、われわれ医療に携わる者は、過去の震災の経験を踏まえ、更に実行性のある備えをする必要があります。

当病院においても、毎年トリアージ訓練を実施しておりますが、今回は、「みんなで考えて行動する参加型トリアージ訓練」をキーワードとして、過去に実施した訓練における反省を踏まえ、本院と山梨県内関連施設との連携を重視するとともに、参加者の知識と技術の向上を目指した訓練を実施したいと考えております。

当日の飛び入り参加や見学は大歓迎であります。できるだけ多くの方の参加を希望します。

2 目的

山梨県内で起こりうる大規模地震を想定し、災害発生時に本学職員が、的確に安全確保を行い、傷病者の受け入れ、トリアージの実施、治療に対応できる事を目的とし、併せて外部DMATとの連携を検証する。

3 実施日時

平成27年5月30日(土) 8:30~12:00頃(雨天決行)

4 実施場所

山梨大学医学部附属病院外来棟 他

5 実施概要

- ① 午前8時50分、静岡市付近を震源とした地震が発生し、県南西部を中心に家屋の倒壊、火災、交通事故等により多数の傷病者が発生した。地震とともに附属病院6階西病棟から出火した。

※医学部キャンパス職員に一斉メールを送信する。



- ② 病院内の職員は、本院の被災状況を確認し、責任病棟の安全を確保する。医学部学生は、授業及び実習中を想定し避難を開始する。担当教員等は、学生の避難誘導にあたる。



- ③ 医学部キャンパス災害対策マニュアルに基づき、災害対策本部の設置、職員の召集及び各班への連絡等を行い、各部署のリーダーの指示に従い、速やかに傷病者の受け入れ準備を行う。

※医学部キャンパス外の職員は、指定されたメールアドレスに、所属・氏名・安否・所在地・出勤可能時間を返信する。



- ④ 続々と来院する患者に対し、病院玄関においてトリアージを行い、各治療ゾーンに誘導する。(トリアージは、トリアージタグを使用して行う)



- ⑤ 症状に応じ、帰宅、入院または転院の指示を出す。



- ⑥ トリアージ訓練終了(引き続き、反省会)



- ⑦ 消火訓練(反省会終了後)

6 参加機関等

(院外) 甲府南消防署、山梨県、甲府市、中央市、他医療機関 他

(院内) 各診療科、各講座、病院各部(室)、事務部職員、医学科生・看護学科生 他

*外部の参加機関より訓練評価者を指定し、訓練終了後講評を受ける。(予定)